

週間漁海況情報—第37号

平成23年9月12日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H23.9.12）を示した。

黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖で接岸している。室戸岬以西では、都井岬でやや離岸、足摺岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、26～27℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘、紀伊水道及び海部沿岸で26～27℃台である。

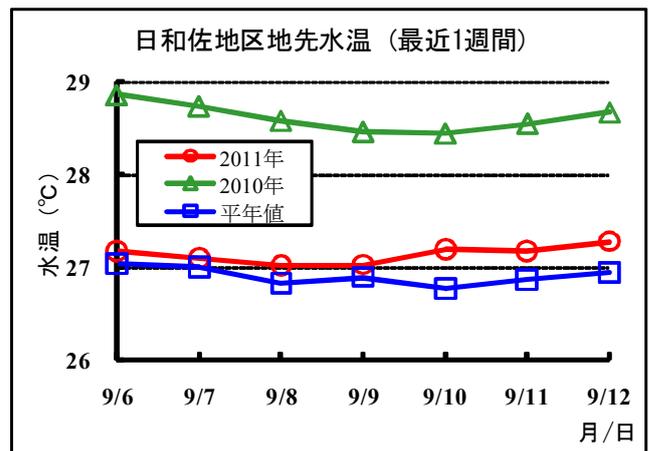
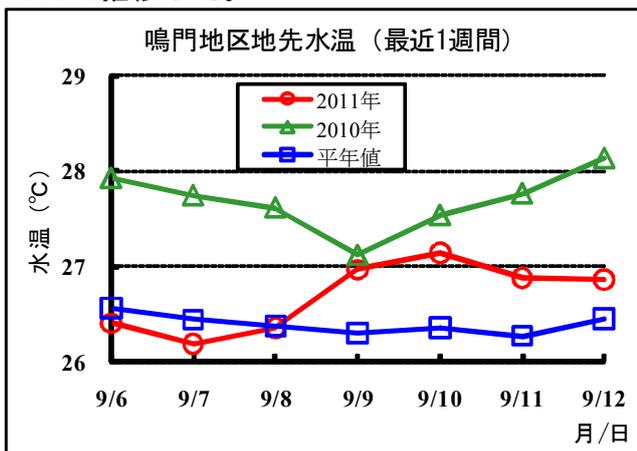
紀伊水道外域では、和歌山県側から暖水流入があり、その先端が紀伊水道内に達している。海部沿岸下灘の岸寄りでは、26℃前半とやや低温の内海系水に覆われている。

漁業調査船「とくしま」が9月7日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は表層～10m層で「平年並み」の26.7～27.1℃、20m～30m層で「やや高め」の26.4～26.6℃であった。

播磨灘海区観測結果

| 観測日 | | 水温 | | | | 塩分 | | | |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 表層 | 10m | 20m | 30m | 表層 | 10m | 20m | 30m |
| 9/7 | 今年値 | 27.1 | 26.7 | 26.6 | 26.4 | 29.6 | 30.6 | 30.9 | 31.3 |
| | 平年偏差 | -0.1 | 0.2 | 0.5 | 0.8 | -2.1 | -1.2 | -0.9 | -0.6 |
| | 前年偏差 | -1.5 | -0.9 | 0.0 | 1.1 | -1.9 | -0.9 | -0.7 | -0.3 |

地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区で「平年並み」～「やや高め」の26.2～27.2℃、日和佐地区で「平年並み」の27.0～27.3℃、牟岐地区は「平年並み」～「やや高め」の27.1～28.0℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸でカワハギが0.3トン（1日1隻当たり50kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で中主体にアカカマスが1.1トン（同127kg）、小小主体にカマス類が0.4トン（同16kg）、大主体にゴマサバが4.2トン（同263kg）、小主体にヒラソウダが0.2トン（同16kg）、マメ・小主体にマアジが8.6トン（同329kg）、マルソウダが0.9トン（同22kg）、ヤマトカマスが0.3トン（同51kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で特大主体にタチウオが0.2トン（同7kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 9月5日～9月11日

県下5漁協から聞き取り

| 漁業種類 | 漁獲海域 | 魚種 | 延べ出漁隻数 | 漁獲量(kg) | 1日1隻当たり漁獲量(kg) | 銘柄・その他 |
|-------|------|--------|--------|---------|----------------|--------|
| 延縄 | 海部沿岸 | カワハギ | 6 | 299 | 50 | |
| 小型定置網 | | アカカマス | 9 | 1,144 | 127 | 中主体 |
| | | カマス類 | 23 | 361 | 16 | 小小主体 |
| | | ゴマサバ | 16 | 4,205 | 263 | 大主体 |
| | | ヒラソウダ | 13 | 205 | 16 | 小主体 |
| | | マアジ | 26 | 8,566 | 329 | マメ・小主体 |
| | | マルソウダ | 40 | 883 | 22 | |
| | | ヤマトカマス | 5 | 256 | 51 | |
| 釣り | | タチウオ | 31 | 203 | 7 | 特大主体 |

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「接岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」～「やや高め」の26℃台、日和佐地先は「平年並み」～「やや高め」の27℃台で推移する見込み。

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年9月6日～9月12日の海部沿岸では、小型定置網でアオリイカが0.2トン、小小主体にカマス類が1.2トン、ヒラソウダが0.3トン、小主体にゴマサバが0.8トン、マルソウダが0.1トン、釣りでイサキが0.1トン、メジロが0.1トン水揚げされていた。紀伊水道では、釣りでサワラが2.7トン、タチウオが0.4トン、パッチ網でシラスが42.4トン水揚げされていた。